

循環型社会の形成

クボタグループは、循環型社会の形成に向けて廃棄物のリサイクルやゼロ・エミッションの推進など再資源化や廃棄物の削減に取り組んでいます。

3R (Reduce, Reuse, Recycle) の推進

新・環境保全中期計画の活動テーマ → Plan 2009年度目標 → Do 2009年度実績 → Check 自己評価 →

2009年度の目標と実績	2008年度比▲2%	2008年度比▲6.0%	自己評価
● 廃棄物排出原単位	● 2008年度比▲2%	2008年度比▲6.0%	◎
● ゼロ・エミッション達成事業所数比率 (ゼロ・エミッション:埋立比率0.5%以下)	● 40%	45%	○

廃棄物排出量

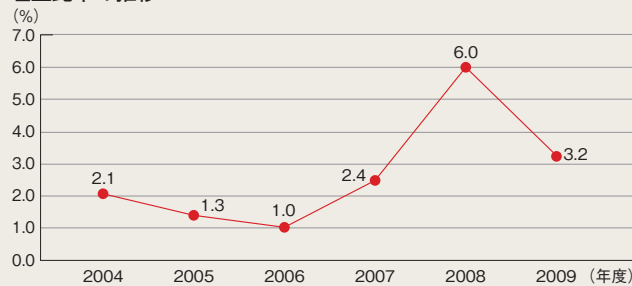
廃棄物排出原単位は、2008年度より6.0%減少し、目標を達成しました。廃棄物排出量は、約74,300tとなり、2008年度より21%低減しました。

今後も、よりきめ細かい管理をしていくことにより、廃棄物排出量の低減を図ります。

ゼロ・エミッション

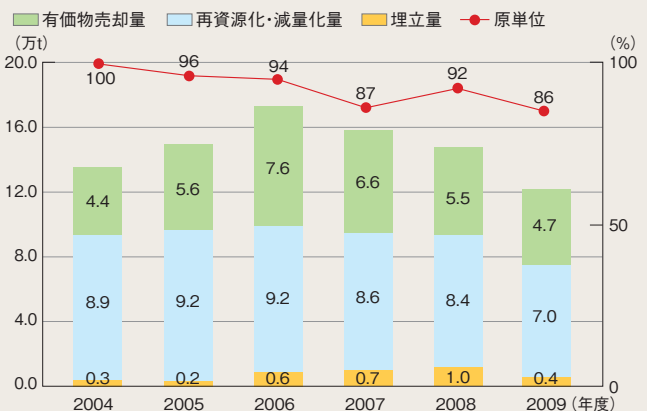
廃棄物のゼロ・エミッション達成事業所数比率は国内55%、海外22%、全体では45%となり、目標を達成しました。埋立比率は2008年度6.0% (国内事業所) に対し、3.2% (国内事業所のみでは1.0%) となり大きく改善しました。理由は、鉱さいの再資源化委託先を開拓したこと、及び各事業所とも分別管理を徹底することにより埋立比率が低減したためです。今後も再資源化努力を継続します。

埋立比率の推移



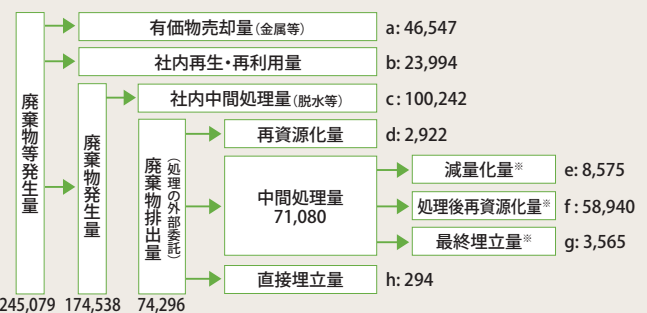
※2008年度までは国内事業所のみ、2009年度は海外事業所を含みます。
※埋立比率 (%) = (直接埋立量 + 中間処理後最終埋立量) ÷ (有価物量 + 廃棄物排出量)

廃棄物排出量の推移



※2005年度までは国内事業所のみ、2006年度以降は海外事業所を含みます。
※排出原単位 (2004年度を100とする) = 廃棄物排出量 ÷ 連結売上高

循環資源処理フロー (単位: t/年)



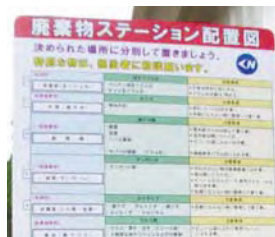
※社外中間処理に伴う減量化量、処理後再資源化量、最終埋立量は委託先での調査結果です。

WEB 「資源循環関連データ」の詳細は <http://www.kubota.co.jp/csr/report/r2010.html> をご覧ください

実践レポート

クボタグループにおける3R推進活動事例

空調設備を製造しているクボタ空調(株)栃木工場では、環境保全活動に精力的に取り組んでいます。中でも廃棄物の削減には特に力を入れており、できるかぎり再資源化を行うために分別管理を徹底しています。写真にあるように廃棄物保管場の区画を明確にし、廃棄物ステーション配置図を掲示するなど、従業員にわかりやすい廃棄物の分別保管に取り組んでいます。その結果2009年度は、ゼロ・エミッション (埋立0%) を達成しました。



廃棄物分別保管場

